

水と緑と歴史の軸

みつけよう

もっと 素敵な 堀割川

僕ともっと、なかよしてね

この町がもっている時間の記憶や、色々な人たちのいとなみも、よく知っている堀割川（ほりわりがわ）の空間にもっと樂趣をプラスしていくまちづくり、「水と緑と歴史の軸・堀割川」と地域のこれらを考えましょう。

～港町ヨコハマの運河の風情を今に伝える～

近代土木遺産 「堀割川運河」

- 河川口の八幡橋の「欄柱」と「橋脚」
- 掘削護岸（八幡橋下流側）の「掘削柱」



土地の記憶
失倉橋付近の姿



絵巻書「横浜根岸堀割の絵」横浜開港資料館所蔵

堀割川の歴史

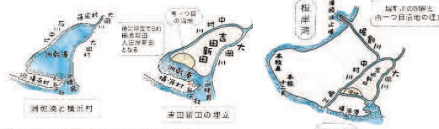
堀割川の歴史

1874年（明治7年）に完成した
ほりわりがわ
堀割川は2024年（令和6年）に
完成から150年！

大岡川河口の埋め立てと新田開発

大岡川と中村川に挟まれた釣鐘状の区域は、かつては洲乾澳（しゅうかんあな）と呼ばれる広い入江でした。江戸日本橋の商人吉田勤兵衛が1659年（万治2年）に吉田新田を開発し、1859年（安政6年）の横浜開港の頃には入江全体が陸地化しましたが、吉田新田の「南一丁目」には広大な沼地が残っていました。堀割川を開削したときにできた土がこの沼地の埋め立てに使われました。

新田開発以前 → 1859年 → 1870年～1874年



大岡川河口の埋め立て～運河開削までの推移

堀割川の開削と滝頭波止場の建設

開港場周辺の市街化が進む中、1870年（明治3年）4月、神奈川県令井関盛長は「吉田新田内の沼地およそ7万坪の埋め立てをする。埋め立て用の土砂は中村川から根岸まで掘削を開きその土を当てるべし。この事業を自力で引き受けるものにはこれを許可しその所有を認める」という布達を出しました。加えて、滝頭波止場の建設と中村川の拡幅を求めました。

この布達に接した吉田家は、「吉田金介」という組合を設立し、工事を請願し許可を得ました。しかし、この事業はなんといても大事業でした。高さ約37mの山を切り下げ、中村川から滝頭まで幅約27m、延長約2.6kmの堀割を開削し、河口に長さ約540mの滝頭波止場を建設する。そして、全長約2.4kmの中村川を幅約27mに掘り拡げる。これらの堀割土を利用して約23haの沼地を埋め立てるといふのです。工事は1870年（明治3年）10月に着工し、1874年（明治7年）8月に完成しましたが、出資者は莫大な借金を抱え、土地も財産も失ってしまいました。

掘削工事

堀割川掘削で最大の難所は、先ず、「弥八ヶ谷戸（やはちがやと）」と呼ばれた中村川あたりの丘陵の切下げ工事（中村切り通し）です。次に中村川の掘削と、吉田新田の「南一丁目」と呼ばれた沼地の掘削残土による埋め立てでした。

堀割川開削の難所「中村切り通し」の当時の様子



絵「堀割」横浜開港資料館所蔵

中村川から分岐する堀割川（写真中央から左）の様子

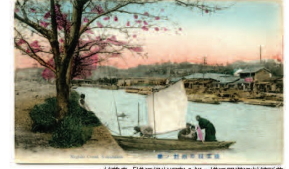


写真「中村川から堀割川の分岐」横浜開港資料館所蔵

舟運路として活躍

明治から昭和にかけて堀割川は舟運路として重要な役割を果たし、主に房総や三浦半島からの和船が頻繁に利用しました。八幡橋のたもと「大竹屋」では、明治の中頃から岸壁に付着した社屋を生で食べさせる店として繁盛したといふこと。堀割川沿いには船宿やビールの瓶工場、耐火煉瓦工場、造船所などが並び、にぎわいをみせました。磯子橋上流の国道16号が盛り上がり、矢倉橋という橋がありますが、それはヘルムドックという造船所でつくられた船を通す橋で、今もその頃の面影をとどめています。

堀割川に沿って、舟や人の行き来がありました



絵巻書「横浜根岸堀割の絵」横浜開港資料館所蔵

掘削海岸の姿



写真「掘削海岸」横浜開港資料館所蔵

明治期に長の名所だった川沿いの桜並木の様子（八幡橋上流付近）



絵巻書「横浜根岸堀割の絵」横浜開港資料館所蔵

当時「滝之根」と呼ばれた木造の橋（現在の八幡橋付近）



絵巻書「横浜根岸堀割の絵」横浜開港資料館所蔵

河口付近の石積み（旧滝頭波止場の跡地）



河口付近の浅瀬（旧滝頭波止場の跡地）



河口付近の浅瀬（旧滝頭波止場の跡地）

堀割川
いそご様橋
2022.5 完成

川に親しむ
新たな施設も作られています！



水に触れられる観水護岸
令和4年5月に整備された堀割川いそご様橋

うささんばし
浮さん橋って
なあに？

水面に浮いているさん橋。潮の満ち引きによって水位が変わっても、船への乗り降りしやすく、子どもから大人まで安全に乗降できるやさしいさん橋。

2022年（令和4年）5月に堀割川に浮さん橋を備えた新たな観水施設「堀割川いそご様橋」が完成しました。満潮時に川の水が溜まる観水護岸では、誰でも水に触れることができます。浮さん橋の利用は、事前の予約が必要です。堀割川いそご様橋利用予約システム (<https://isogo.kawanoeki.org/>) でご確認ください。



川沿いの桜並木！

旧滝頭波止場跡地である農林水産省動物検疫所の敷地に植えられた川沿いの桜並木は、春には桜の見どころになっています。八幡橋や対岸から、きれいな桜を楽しませてくれています。



動物検疫所敷地の桜並木
（関係者以外の立入りは出来ません。）

川沿いの桜並木（対岸から）

磯子区役所では、「堀割川の魅力づくり」の取組を区ホームページでお伝えしています。イベントなどの情報もご紹介しています。
https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/shokai/miryoku/horiwarigawa_miryoku.html



横浜市磯子区役所区政推進課 令和6年8月作成
●八幡橋上流距離：延長約2100m、川幅約27m
●八幡橋下流距離：延長約600m、川幅約30m～約60m
Eメール is-kuse@city.yokohama.jp
電話番号 045-750-2332 ファックス番号 045-750-2533

堀割川（二級河川大岡川水系）の概要
●八幡橋上流距離：延長約2100m、川幅約27m
●八幡橋下流距離：延長約600m、川幅約30m～約60m
本パンフレットは、平成18年に磯子区役所区政推進課が発行した「みつけよう堀割川」をもとに再編集しました。